

令和7年度 社会福祉法人あぶくま福祉会

生活介護事業所 だての郷事業報告

1. 概 要

法人の基本方針と理念に基づき、利用者の個性や人格を尊重し、個人の特性に応じた利用者主体の支援に努めサービスを提供し、利用者の日中活動の場として、個々が豊かで活力のある生活ができるように努めた。支援の度合いの高い利用者が多い現状を踏まえ、日中活動の支援体制を2班に分け、班ごとに主担当、副担当の職員を配置し、支援を行なうことでサービスの充実に努めた。日常生活に関しては、感染症の予防対策をするとともに、保護者との連絡を密に連絡帳と面談により利用者の状態や様子を確認し、支援内容を工夫した。

また、各市町や医療機関、福祉関係機関との連携をとりながら、利用者の安全を最優先に支援を行った。さらに、地域生活支援事業として、平日朝夕の預かりや休日の支援等、家族の要望に応じた福祉サービスにも取り組んだ。

2. 利用者の状況 (令和8年3月31日現在) 定員20名 契約者数27名

利用者内訳 男19名 女8名 合計27名

市町村	男	女	合計
伊達市	10名	3名	13名
桑折町	3名	3名	6名
国見町	2名	1名	3名
福島市	3名	1名	4名
川俣町	1名		1名
合 計	19名	8名	27名

年齢/性別	男	女	合 計
20歳未満	—	—	0名
20歳代	1名	0名	1名
30歳代	3名	2名	5名
40歳代	13名	5名	18名
50歳代	2名	1名	3名
60歳以上			
合 計	19名	8名	27名
平均年齢	43.2歳	43.6歳	43.3歳

障がい支援区分			
区分3	区分4	区分5	区分6
1名	6名	9名	11名

サービス利用時間		
3時間未満	6時間	7時間
1名	20名	6名

3. 職員の状況

施設長（兼サービス管理責任者）1名、生活支援員12名（正職員4名・兼務正職員1名・臨時職員2名・パート4名・シルバー2名）、事務員1名（兼務）、看護師1名（嘱託）、嘱託医1名

4. 主な事業の実施状況

(1) 支援事業の実施

利用者個々の特性や意思を尊重し、日常生活や社会生活に適応できるような支援

を心がけた。その具体的内容は、毎日の歩行やラジオ体操、軽作業である部品の解体や分別等を通して機能の維持回復を図りながら社会との繋がりを保った。余暇活動として、音楽やビデオ鑑賞、読書、パズル、塗り絵、工作等により、穏やかな気持ちで過ごせるように努めた。また、その時々行事は、今年度も人混みを避けるなど感染対策を行ないながら実施し、ミニドライブは、行先やルートを季節の変化を感じることでできるコースを設定した。にこにこフェスティバルはスポーツ・レク要素を盛り込んで開催した。社会体験会では、各自食べたいケーキを選んで買い物を体験した。土曜利用日の活動では、障がい者スポーツ教室や伊達市社協クリスマス会などに参加した。

(2) 利用者出勤状況

開所日数	2 4 7 日	(前年度 2 4 7 日)
平均利用日数	2 0 5 日	(前年度 2 1 1 日)
年間出勤率	8 3 . 0 %	(前年度 8 5 . 5 %)

(3) 地域生活支援事業の実施

地域福祉サービスとして、平日夕方の預り延長や土曜日の日中一時支援事業を行った。また、サービス内容が保護者の要望に沿えるように、質の向上を図り、利用者が安心して過ごせるよう支援した。

「日中一時支援事業利用者数」

年間開所日数 (平日)	2 5 3 日	(前年度 2 5 1 日)
(内第 2 第 4 土曜日)	1 8 日	(前年度 1 6 日)
年間延べ利用者数	1, 3 4 7 人	(前年度 1, 1 7 7 人)
1 日当たりの利用者数	5 . 2 人	(前年度 4 . 6 人)

(4) 健康及び安全対策

利用者の健康を守るため、定期健康診断や内科検診、毎月の血圧や体重チェックの実施、コロナやインフルエンザ感染予防として、日々の手洗い、消毒、うがい、マスク着用、検温、みだしなみ教室等により健康や衛生管理に努めた。施設的生活では、毎日の歩行とラジオ体操、月 1 回ダンス教室を行い、体力の維持と健康増進に努めた。

また、日々の連絡帳により家庭との連絡を密にし、その時々健康状態や衛生管理に気を配った。

給食は、今年度より業務委託業者が変更になったが、これまでと変わらず施設内で調理・提供し、バランスが取れた献立で、定期的に体重測定と残食状況を確認し健康の維持に努めた。

安全対策について、交通安全教室について伊達警察署から講師を依頼して安全な道路横断方法を教えていただいた。避難訓練では、毎月、火災・水害・地震の災害に応じた訓練を実施した。

施設内の安全管理については、施設内外それぞれの場所の点検管理を職員が分担し、日々の点検から安全確保、環境整備を行っている。また、毎月、起こりうる災害を想定しての避難訓練を行った。

(5) 感染症予防対策

新型コロナやインフルエンザ等の感染症の予防対策を従来と変わらず行っていたが、11月から12月にかけて新型コロナ・インフルエンザではないものの咳症状のみられる利用者が多くなり3名肺炎となる利用者が発生。3月にインフルエンザB型感染の利用者が同時期に複数発生したため拡大防止のため一週間休業の対応を行った。施設再開にあたり、改めて適切なマスク着用とこまめな手洗い手指消毒の注意喚起を行った。

(6) 職員研修

主な研修として、新入職員を対象に入職時に職場内での研修と県社協主催の初任者研修受講、施設内研修として、権利擁護研修受講の職員の伝達講習を実施。職員の資質向上に努めた。

(7) 公益的な取り組み

中瀬町町内会に加入し、地域住民との交流をもち、公益的な取り組みとして町内会活動に参加し、路肩周辺の草刈、集会所の清掃を行った。また、歩行時に休憩にしている神社や公園のゴミ拾いを行った。

5. 令和7年度に行った主な行事・事業等

月	主な行事・事業等
4月	22日JAからイチゴ贈呈 23日春の歩こう会
5月	27日サツマイモ植え 28日にこにこフェスティバル（FD、ボッチャ等）
6月	25日昼食会
7月	16日JAから桃贈呈 18日創立記念日ジェラートのつどい 25日保護者会役員会
8月	1日保護者会総会 22日避難訓練（洪水想定） 25日障がい者スポーツ教室 27日～28日・9月3日～4日社会体験会（ケーキ購入） 29日合同保護者役員会
9月	19日合同保護者会 26日交通安全教室、
10月	4日保護者奉仕作業 20日利用者健康診断 26日あぶくま祭 31日サツマイモ収穫
11月	5日秋の歩こう会
12月	6日伊達市社協クリスマス会、 24日だての郷クリスマス会
1月	6日から8日初詣ミニドライブ 14日新年を祝う会
2月	3日節分の豆まき すし竹から寿司贈呈 7日障がい者スポーツ教室
3月	9日内科健診
毎月	報奨金支給 誕生会 避難訓練 ダンス教室 ジュース購入 ミニドライブ 広報紙「だての郷通信ひびき」発行 職員会議（毎週木曜日） ホームページ更新
毎日	朝の会 歩行 給食提供 ラジオ体操 帰りの会 送迎